

# グローバル水素株式ファンド ＜愛称 「H2」＞

## 運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2022年8月18日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「グローバル水素株式ファンド」は、2022年8月18日に第1期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年8月16日から2031年8月18日までです。	
運用方針	主として、「グローバル水素株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル水素株式ファンド	「グローバル水素株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル水素株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル水素株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル水素株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<645044>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2021年8月16日	10,000		—	—	—	2,650
1期(2022年8月18日)	10,683		0	6.8	97.0	33,379

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2021年8月16日	10,000		—	—
8月末	10,460		4.6	96.0
9月末	10,146		1.5	95.1
10月末	11,308		13.1	94.1
11月末	10,761		7.6	91.3
12月末	10,160		1.6	98.1
2022年1月末	8,683		△13.2	91.8
2月末	8,841		△11.6	97.6
3月末	10,277		2.8	97.6
4月末	9,525		△4.8	97.9
5月末	9,854		△1.5	95.7
6月末	9,359		△6.4	97.1
7月末	10,039		0.4	95.2
(期末)				
2022年8月18日	10,683		6.8	97.0

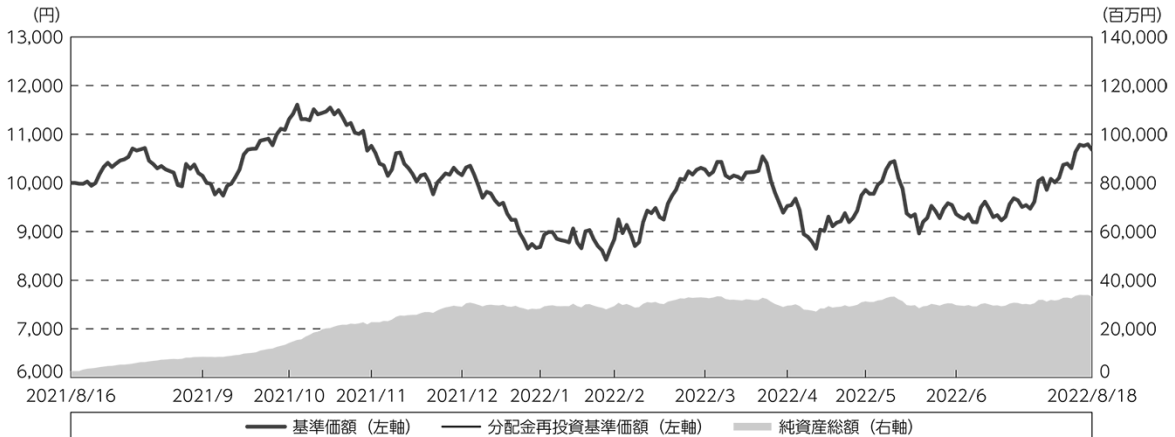
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：10,683円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 6.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル水素株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・ 好調なマクロ経済指標や企業業績動向などを背景に、2021年末までの期間の前半に主要株式市場がグロース株をけん引役に上昇を続けたこと。
- ・ 米国の利上げペースの加速化観測や欧米金利の上昇などを背景に、アメリカドルおよび主要通貨に対して円安が進んだこと。
- ・ エネルギー、資本財・サービスセクターなどの銘柄が堅調に推移したこと。

## ＜値下がり要因＞

- ・金利上昇やインフレ懸念、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化、米国の利上げペースの加速化懸念などを受けて世界的にリスクオフが拡がり、2022年年初からの期間の後半に主要株式市場が大幅に下落したこと。
- ・情報技術セクターなどの銘柄が軟調に推移したこと。

## 投資環境

## (株式市況)

期間中は、ボラティリティ（価格変動性）の非常に高い展開となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停止が続いたことや、供給網（サプライチェーン）の問題、ロシアとウクライナとの間の紛争によるエネルギー市場の混乱、そして予想を上回る世界的なインフレ加速を受けた積極的な利上げを受けて、株式市場は軒並み下落しました。

そのようななか、水素は世界的に支持されるようになってきています。二酸化炭素排出量の90%超を占める50カ国超が、水素に関する具体的な計画を発表あるいは準備しています。取り組みの意欲も広がりを見せており、EU（欧州連合）、米国、中国が先行しています。2022年3月には、EUがグリーン水素の利用目標を2030年までに2000万トンと、従来の4倍とするなど、水素に関する野心的な意向をさらに強めました。これは、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、ロシア産化石燃料から脱却するための計画「リパワーEU」イニシアチブの一環として発表されたものです。8月には、米国でこれまで最も支援的な水素政策となるインフレ抑制法案が成立しました。補助金の利用が可能となることから、水素は早々に多くのケースでコスト競争力が高まるとみられます。同様に、中国は水素計画を初めて立ち上げ、第14次国家5ヵ年計画（2021～2025年）で水素を戦略的新興テクノロジーとして特定しました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル水素株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル水素株式マザーファンド)

設定来の当ファンドの基準価額は、上昇しました。ファンドの投資哲学である「フューチャー・クオリティ」に沿って、水素関連企業やエネルギー移行への投資に対して積極的にアプローチしたことが、良好なパフォーマンスにつながりました。

個別銘柄では、エネルギー移行に関連する企業の銘柄選択がプラスに寄与しました。これらのキャッシュ創出力のある企業は、株式市場の大幅な下落に対してディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性を発揮しました。ロシアのウクライナ侵攻を受けたインフレ圧力や供給の混乱によって天然ガスや原油価格が高騰し、ベーカー・ヒューズ（エネルギー）やシュルンベルジェ（エネルギー）などエネルギー事業を手掛ける企業に追い風となりました。2050年に向けた構造的なエネルギー・インフラ投資の加速を受けて、クアンタ・サービーズ（資本財・サービス）、KBR（資本財・サービス）、チャート・インダストリーズ（資本財・サービス）などの他のエネルギー移行の産業にはさらなる追い風となりました。水素事業に特化するプラグ・パワー（資本財・サービス）やBloom Energy（資本財・サービス）に加えて太陽光発電銘柄は、「リパワーEU」イニシアチブや米国のインフレ抑制法案による政策支援の高まりを受けて上昇しました。

一方、インフレの逆風や成長株からのローテーションによって打撃を受けた銘柄が、マイナスに影響しました。主に、巴拉ード・パワー・システムズ（資本財・サービス）やセレス・パワー・ホールディングス（資本財・サービス）など、水素事業に特化する一部の企業の株価が低迷しました。しかし当ファンドでは、市場のボラティリティが後退してファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）面の成長がバリュエーション（株価評価）のけん引役となるなか、こうした企業は水素経済が構築されることで、より長期的に恩恵を受けるとみています。風力発電の再生可能エネルギーを手掛けるヴェスタス・ウィンド・システムズ（資本財・サービス）やオーステッド（公益事業）は、これまでに比べてバリュエーションが割高であることに加えて、投入コストの急上昇やサプライチェーンの混乱に見舞われました。とはいえ、風力エネルギーがネット・ゼロ・エネルギー・システムにとって重要な柱になるとみられるなか、両社の事業機会は過去12ヵ月にわたり長期的に拡大しています。

期間中ポートフォリオでは、今後の事業の収益性について確信度が薄れたことから、ITMパワー（資本財・サービス）、ジョンソン・マッセイ（素材）、シーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー（資本財・サービス）などを売却しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2021年8月16日～ 2022年8月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	683

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、原則として「グローバル水素株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル水素株式マザーファンド)

長期的展望では、今後10年間に社会が直面するであろう難題の解決に貢献する企業が、市場のけん引役になると考えています。様々な成長ドライバーのなかでも、水素インフラへの投資とエネルギー転換は、課題の規模が非常に大きく幅広いソリューションが必要になることから、魅力的と言えます。

インフレの高まりや経済変動の激化を特徴とするレジーム・シフト(気候要素が短期間に急激に変化すること)が続く可能性があり、現在はその初期段階にあるとみています。そうであれば、ファンドの投資哲学である「フューチャー・クオリティ」に基づいて投資することで、ポートフォリオに一定のディフェンシブ性を提供しつつ、高い相対パフォーマンスを達成できると考えています。

当ファンドでは、クオリティが高いか改善しつつある水素関連企業への投資を継続していきます。これまでと同様、事業の質はフューチャー・クオリティ投資の重要な柱であり、また、資本の賢明な投下・成長を図る経営陣に投資することも重要なポイントです。水素経済は大きな投資を必要としますが、これは好材料であると同時に、投資先が急速な拡大の必要性に耐える強いバランスシートを有する企業であることの重要性も示しています。

市場で過少評価されているものの、水素社会によってもたらされる将来的な変化が期待される水素関連株への投資を行なう方針です。このポートフォリオを通じて、水素経済によって日常生活に大きな変化をもたらすだけでなく、ファンドの収益化という点においても、将来的に貢献していきたいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月16日～2022年8月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	169	1.702	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 83 )	( 0.832 )	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 83 )	( 0.832 )	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 4 )	( 0.039 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.049	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 5 )	( 0.049 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.042	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 4 )	( 0.042 )	
(d) そ の 他 費 用	7	0.073	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 3 )	( 0.034 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.004 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 3 )	( 0.035 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	185	1.866	
期中の平均基準価額は、9,951円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

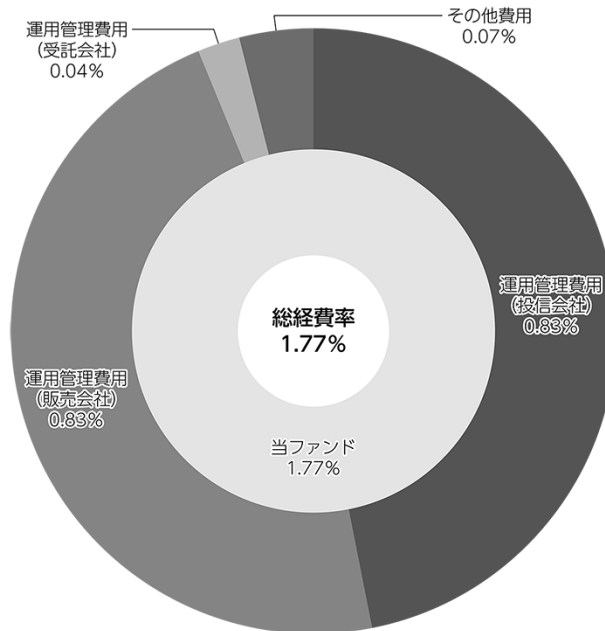
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル水素株式マザーファンド	33,761,280 千口	35,407,508 千円	3,447,429 千口	3,445,195 千円

## ○株式売買比率

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル水素株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	43,269,741千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,368,495千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.85

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年8月16日～2022年8月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年8月16日～2022年8月18日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年8月16日～2022年8月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2022年8月18日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
グローバル水素株式マザーファンド		30,313,851	32,981,470

(注) 親投資信託の2022年8月18日現在の受益権総口数は、30,313,851千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2022年8月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル水素株式マザーファンド	32,981,470	96.9
コール・ローン等、その他	1,050,908	3.1
投資信託財産総額	34,032,378	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル水素株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(31,780,312千円)の投資信託財産総額(33,323,722千円)に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=134.91円、1カナダドル=104.43円、1ユーロ=137.43円、1イギリスポンド=162.59円、1スウェーデンクローナ=12.98円、1ノルウェークローネ=13.88円、1デンマーククローネ=18.48円、1オーストラリアドル=93.60円、1香港ドル=17.20円、1韓国ウォン=0.1029円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	34,032,378,669
コール・ローン等	707,516,698
グローバル水素株式マザーファンド(評価額)	32,981,470,071
未収入金	343,391,900
(B) 負債	653,195,316
未払解約金	383,336,693
未払信託報酬	260,555,424
未払利息	189
その他未払費用	9,303,010
(C) 純資産総額(A-B)	33,379,183,353
元本	31,244,273,563
次期繰越損益金	2,134,909,790
(D) 受益権総口数	31,244,273,563口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,683円

(注) 当ファンドの設定時元本額は2,650,171,392円、期中追加設定元本額は36,973,027,312円、期中一部解約元本額は8,378,925,141円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0683円です。

## ○損益の状況 (2021年8月16日～2022年8月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 76,560
受取利息	429
支払利息	△ 76,989
(B) 有価証券売買損益	1,578,783,142
売買益	1,712,712,257
売買損	△ 133,929,115
(C) 信託報酬等	△ 424,706,740
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,153,999,842
(E) 追加信託差損益金	980,909,948
(配当等相当額)	(△ 61,174)
(売買損益相当額)	( 980,971,122)
(F) 計(D+E)	2,134,909,790
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	2,134,909,790
追加信託差損益金	980,909,948
(配当等相当額)	( 17,197,588)
(売買損益相当額)	( 963,712,360)
分配準備積立金	1,153,999,842

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年8月16日～2022年8月18日の期間に当ファンドが負担した費用は108,178,716円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年8月16日～2022年8月18日)は以下の通りです。

項 目	2021年8月16日～ 2022年8月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	182,218,928円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	971,780,914円
c. 信託約款に定める収益調整金	980,909,948円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,134,909,790円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	683円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

## ○お知らせ

---

### 約款変更について

2021年8月16日から2022年8月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

# グローバル水素株式マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日 2022年8月18日）  
（2021年8月16日～2022年8月18日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2021年8月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

## ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、水素関連のビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2021年8月16日	10,000		—	—	2,583
1期(2022年8月18日)	10,880		8.8	98.2	32,980

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率
		騰	落	
(設定日)	円		%	%
2021年8月16日	10,000		—	—
8月末	10,479		4.8	98.5
9月末	10,171		1.7	97.6
10月末	11,420		14.2	102.3
11月末	10,870		8.7	95.6
12月末	10,242		2.4	101.4
2022年1月末	8,738		△12.6	93.5
2月末	8,912		△10.9	99.0
3月末	10,391		3.9	99.0
4月末	9,635		△ 3.7	99.5
5月末	9,991		△ 0.1	97.0
6月末	9,499		△ 5.0	98.1
7月末	10,208		2.1	96.4
(期 末)				
2022年8月18日	10,880		8.8	98.2

(注) 騰落率は設定日比です。

## ○運用経過

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、期間末に10,880円となり、騰落率は+8.8%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・好調なマクロ経済指標や企業業績動向などを背景に、2021年末までの期間の前半に主要株式市場がグロース株をけん引役に上昇を続けたこと。
- ・米国の利上げペースの加速化観測や欧米金利の上昇などを背景に、アメリカドルおよび主要通貨に対して円安が進んだこと。
- ・エネルギー、資本財・サービスセクターなどの銘柄が堅調に推移したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

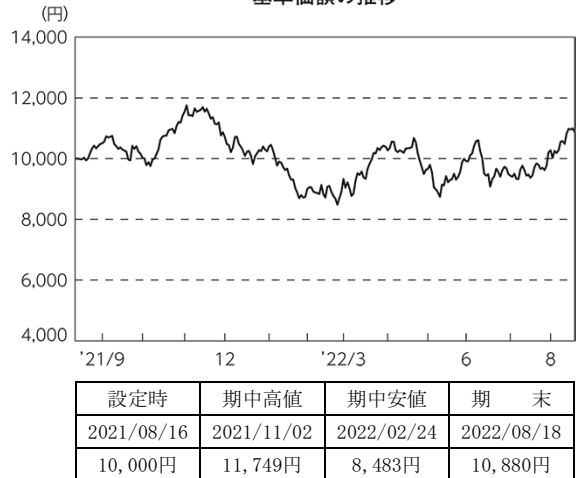
- ・金利上昇やインフレ懸念、ロシア・ウクライナ情勢の深刻化、米国の利上げペースの加速化懸念などを受けて世界的にリスクオフが拡がり、2022年年初からの期間の後半に主要株式市場が大幅に下落したこと。
- ・情報技術セクターなどの銘柄が軟調に推移したこと。

## (株式市況)

期間中は、ボラティリティ（価格変動性）の非常に高い展開となりました。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停止が続いたことや、供給網（サプライチェーン）の問題、ロシアとウクライナとの間の紛争によるエネルギー市場の混乱、そして予想を上回る世界的なインフレ加速を受けた積極的な利上げを受けて、株式市場は軒並み下落しました。

そのようななか、水素は世界的に支持されるようになってきています。二酸化炭素排出量の90%超を占める50カ国超が、水素に関する具体的な計画を発表あるいは準備しています。取り組みの意欲も広がりを見せており、EU（欧州連合）、米国、中国が先行しています。2022年3月には、EUがグリーン水素の利用目標を2030年までに2000万トンと、従来の4倍とするなど、水素に関する野心的な意向をさらに強めました。これは、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、ロシア産化石燃料から脱却するための計画「リパワーEU」イニシアチブの一環として発表されたものです。8月には、米国でこれまでで最も支援的な水素政策となるインフレ抑制法案が成立しました。補助金の利用が可能となることから、水素は早々に多くのケースでコスト競争力が高まるとみられます。同様に、中国は水素計画を初めて立ち上げ、第14次国家5カ年計画（2021～2025年）で水素を戦略的新興テクノロジーとして特定しました。

基準価額の推移



(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



## ポートフォリオ

設定来の当ファンドの基準価額は、上昇しました。ファンドの投資哲学である「フューチャー・クオリティ」に沿って、水素関連企業やエネルギー移行への投資に対して積極的にアプローチしたことが、良好なパフォーマンスにつながりました。

個別銘柄では、エネルギー移行に関連する企業の銘柄選択がプラスに寄与しました。これらのキャッシュ創出力のある企業は、株式市場の大幅な下落に対してディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性を発揮しました。ロシアのウクライナ侵攻を受けたインフレ圧力や供給の混乱によって天然ガスや原油価格が高騰し、ベーカー・ヒューズ（エネルギー）やシュルンベルジェ（エネルギー）などエネルギー事業を手掛ける企業に追い風となりました。2050年に向けた構造的なエネルギー・インフラ投資の加速を受けて、クアンタ・サービス（資本財・サービス）、KBR（資本財・サービス）、チャート・インダストリーズ（資本財・サービス）などの他のエネルギー移行の産業にはさらなる追い風となりました。水素事業に特化するプラグ・パワー（資本財・サービス）やBloom Energy（資本財・サービス）に加えて太陽光発電銘柄は、「リパワーEU」イニシアチブや米国のインフレ抑制法案による政策支援の高まりを受けて上昇しました。

一方、インフレの逆風や成長株からのローテーションによって打撃を受けた銘柄が、マイナスに影響しました。主に、バラード・パワー・システムズ（資本財・サービス）やセレス・パワー・ホールディングス（資本財・サービス）など、水素事業に特化する一部の企業の株価が低迷しました。しかし当ファンドでは、市場のボラティリティが後退してファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）面の成長がバリュエーション（株価評価）のけん引役となるなか、こうした企業は水素経済が構築されることで、より長期的に恩恵を受けるとみています。風力発電の再生可能エネルギーを手掛けるヴェスタス・ウィンド・システムズ（資本財・サービス）やオーステッド（公益事業）は、これまでに比べてバリュエーションが割高であることに加えて、投入コストの急上昇やサプライチェーンの混乱に見舞われました。とはいえ、風力エネルギーがネット・ゼロ・エネルギー・システムにとって重要な柱になるとみられるなか、両社の事業機会は過去12か月にわたり長期的に拡大しています。

期間中ポートフォリオでは、今後の事業の収益性について確信度が薄れたことから、ITMパワー（資本財・サービス）、ジョンソン・マッセイ（素材）、シーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー（資本財・サービス）などを売却しました。



## ○今後の運用方針

---

長期的展望では、今後10年間に社会が直面するであろう難題の解決に貢献する企業が、市場のけん引役になると考えています。様々な成長ドライバーのなかでも、水素インフラへの投資とエネルギー転換は、課題の規模が非常に大きく幅広いソリューションが必要になることから、魅力的と言えます。

インフレの高まりや経済変動の激化を特徴とするレジーム・シフト（気候要素が短期間に急激に変化すること）が続く可能性があり、現在はその初期段階にあるとみています。そうであれば、ファンドの投資哲学である「フューチャー・クオリティ」に基づいて投資することで、ポートフォリオに一定のディフェンシブ性を提供しつつ、高い相対パフォーマンスを達成できると考えています。

当ファンドでは、クオリティが高いか改善しつつある水素関連企業への投資を継続していきます。これまでと同様、事業の質はフューチャー・クオリティ投資の重要な柱であり、また、資本の賢明な投下・成長を図る経営陣に投資することも重要なポイントです。水素経済は大きな投資を必要としますが、これは好材料であると同時に、投資先が急速な拡大の必要性に耐える強いバランスシートを有する企業であることの重要性も示しています。

市場で過少評価されているものの、水素社会によってもたらされる将来的な変化が期待される水素関連株への投資を行なう方針です。このポートフォリオを通じて、水素経済によって日常生活に大きな変化をもたらすだけでなく、ファンドの収益化という点においても、将来的に貢献していきたいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月16日～2022年8月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 5 ( 5 )	% 0.050 (0.050)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	4 ( 4 )	0.043 (0.043)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	4 ( 4 )	0.035 (0.035)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	13	0.128	
期中の平均基準価額は、10,046円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 449 ( 23)	千円 1,934,144 ( -)	千株 112	千円 244,587
	アメリカ	百株 27,879	千アメリカドル 162,355	百株 1,989	千アメリカドル 11,833
外 国	カナダ	8,257	千カナダドル 15,764	1,842	千カナダドル 1,665
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	2,881	6,749	1,416	2,033
	フランス	559 ( 54)	8,416 ( -)	12	198
	オランダ	9,039	11,069	4,836	4,916
	スペイン	2,803	6,186	2,803	5,165
	ベルギー	599	2,801	599	2,298
	フィンランド	1,364	6,432	31	115
	イギリス	13,536	千イギリスポンド 13,169	7,074	千イギリスポンド 3,913
	スウェーデン	5,312	千スウェーデンクローナ 79,977	1,827	千スウェーデンクローナ 25,881
ノルウェー	61,156	千ノルウェークローネ 97,532	38,927	千ノルウェークローネ 56,738	
デンマーク	2,850	千デンマーククローネ 76,782	66	千デンマーククローネ 1,440	
オーストラリア	8,631	千オーストラリアドル 12,076	—	千オーストラリアドル —	
香港	84,984	千香港ドル 131,988	1,920	千香港ドル 2,510	
韓国	2,911	千韓国ウォン 14,644,846	67	千韓国ウォン 261,007	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2021年8月16日～2022年8月18日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	43,269,741千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,368,495千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.85

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年8月16日～2022年8月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年8月16日～2022年8月18日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2022年8月18日現在)

## 国内株式

銘	柄	当 期		末
		株 数	評 価	額
			千株	千円
化学 (13.3%)				
日本酸素ホールディングス		75.2		195,971
機械 (26.6%)				
三浦工業		124.3		393,409
卸売業 (60.1%)				
岩谷産業		160.3		888,062
合 計	株 数 ・ 金 額	359		1,477,442
	銘 柄 数 < 比 率 >	3		<4.5%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## 外国株式

銘柄	株数	当期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
ACCENTURE PLC-CL A	167	5,343	720,860	ソフトウェア・サービス
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	350	9,404	1,268,818	素材
BAKER HUGHES CO	2,155	5,333	719,582	エネルギー
BLOOM ENERGY CORP- A	4,762	12,658	1,707,785	資本財
CHART INDUSTRIES INC	547	10,722	1,446,574	資本財
CUMMINS INC	310	7,142	963,534	資本財
EMERSON ELECTRIC CO	648	5,762	777,428	資本財
INGERSOLL-RAND INC	1,101	5,793	781,555	資本財
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	483	6,510	878,275	商業・専門サービス
KBR INC	2,269	11,878	1,602,508	商業・専門サービス
LINDE PLC	317	9,820	1,324,912	素材
QUANTA SERVICES INC	349	5,040	680,026	資本財
SCHLUMBERGER LTD	1,534	5,432	732,915	エネルギー
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	59	2,363	318,919	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ANSYS INC	112	3,147	424,649	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	81	1,852	249,986	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	185	5,403	728,933	ソフトウェア・サービス
PLUG POWER INC	6,928	19,726	2,661,293	資本財
SHOALS TECHNOLOGIES GROUP -A	3,296	8,402	1,133,608	資本財
SOLAREEDGE TECHNOLOGIES INC	227	7,064	953,020	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	25,889 20	148,804 -	20,075,188 <60.9%>
(カナダ)		千カナダドル		
BALLARD POWER SYSTEMS INC	6,414	6,908	721,481	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,414 1	6,908 -	721,481 <2.2%>
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ		
SIEMENS ENERGY AG	1,465	2,385	327,891	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,465 1	2,385 -	327,891 <1.0%>
(ユーロ…フランス)				
AIR LIQUIDE SA	601	8,152	1,120,415	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	601 1	8,152 -	1,120,415 <3.4%>
(ユーロ…オランダ)				
TECHNIP ENERGIES NV	4,202	5,097	700,605	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,202 1	5,097 -	700,605 <2.1%>
(ユーロ…フィンランド)				
NESTE OYJ	1,332	6,637	912,149	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,332 1	6,637 -	912,149 <2.8%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,602 4	22,273 -	3,061,063 <9.3%>
(イギリス)		千イギリスポンド		
CERES POWER HOLDINGS PLC	6,462	4,488	729,816	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,462 1	4,488 -	729,816 <2.2%>

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等
		評 価 額	額	
(スウェーデン) HEXAGON AB-B SHS	百株 3,485	千スウェーデンクローナ 41,526	千円 539,014	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株数・金額 3,485	41,526	539,014	
	銘柄数<比率>	1	<1.6%>	
(ノルウェー) NEL ASA	22,229	千ノルウェークローネ 34,877	484,105	資本財
小 計	株数・金額 22,229	34,877	484,105	
	銘柄数<比率>	1	<1.5%>	
(デンマーク) ORSTED A/S VESTAS WIND SYSTEMS A/S	180 2,604	千デンマーククローネ 14,482 50,756	267,632 937,972	公益事業 資本財
小 計	株数・金額 2,784	65,238	1,205,605	
	銘柄数<比率>	2	<3.7%>	
(オーストラリア) WORLEY LTD	8,631	千オーストラリアドル 11,971	1,120,528	エネルギー
小 計	株数・金額 8,631	11,971	1,120,528	
	銘柄数<比率>	1	<3.4%>	
(香港) WEICHAI POWER CO LTD-H XINJIANG GOLDWIND SCI&TECH-H XINYI SOLAR HOLDINGS LTD	18,120 27,944 37,000	千香港ドル 19,859 40,462 44,252	341,583 695,962 761,134	資本財 資本財 半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 83,064	104,574	1,798,680	
	銘柄数<比率>	3	<5.5%>	
(韓国) DOOSAN FUEL CELL CO LTD	2,843	千韓国ウォン 11,361,180	1,169,065	資本財
小 計	株数・金額 2,843	11,361,180	1,169,065	
	銘柄数<比率>	1	<3.5%>	
合 計	株数・金額 169,407	—	30,904,550	
	銘柄数<比率>	35	<93.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2022年8月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 32,381,993	% 97.2
コール・ローン等、その他	941,729	2.8
投資信託財産総額	33,323,722	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (31,780,312千円) の投資信託財産総額 (33,323,722千円) に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=134.91円、1カナダドル=104.43円、1ユーロ=137.43円、1イギリスポンド=162.59円、1スウェーデンクローナ=12.98円、1ノルウェークローネ=13.88円、1デンマーククローネ=18.48円、1オーストラリアドル=93.60円、1香港ドル=17.20円、1韓国ウォン=0.1029円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月18日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	33,323,722,040	
コール・ローン等	917,504,930	
株式(評価額)	32,381,993,001	
未収配当金	24,224,109	
(B) 負債	343,391,917	
未払解約金	343,391,900	
未払利息	17	
(C) 純資産総額(A-B)	32,980,330,123	
元本	30,313,851,169	
次期繰越損益金	2,666,478,954	
(D) 受益権総口数	30,313,851,169口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,880円	

(注) 当ファンドの設定時元本額は2,583,917,107円、期中追加設定元本額は31,177,363,435円、期中一部解約元本額は3,447,429,373円です。

(注) 2022年8月18日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル水素株式マザーファンド 30,313,851,169円

(注) 1口当たり純資産額は1.0880円です。

## ○損益の状況 (2021年8月16日～2022年8月18日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	258,679,045	
受取配当金	258,680,333	
受取利息	24	
その他収益金	8,802	
支払利息	△ 10,114	
(B) 有価証券売買損益	767,882,485	
売買益	5,670,906,550	
売買損	△4,903,024,065	
(C) 保管費用等	△ 8,544,960	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,018,016,570	
(E) 追加信託差損益金	1,646,228,360	
(F) 解約差損益金	2,234,024	
(G) 計(D+E+F)	2,666,478,954	
次期繰越損益金(G)	2,666,478,954	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2021年8月16日から2022年8月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。